

令和 5 年 6 月 19 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(A)（海外学術調査）

研究期間：2017～2021

課題番号：17H01636

研究課題名（和文）分権的発展の効果と潜在力：インド29州の比較分析を通じた民主主義的安定のかたち

研究課題名（英文）Results and Potentials of Decentralized Development: Comparative Studies of 29 States in India to Understand the Shape for Democratic Stability

研究代表者

吉田 修（YOSHIDA, OSAMU）

広島大学・人間社会科学研究科（社）・教授

研究者番号：60231693

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 32,500,000円

研究成果の概要（和文）：インドでは、文化や宗教等の多様性に基づく連邦的枠組みと、社会経済的発展を求める集権的構造とが基盤となり、独立後の政治過程が展開してきたが、前者が後者を修正し、中央における連立政権に代表される州を基礎とした分権的關係が生成した。本研究はこうした展開を、単一の主権国家のもとで地域の多様性に基づいた社会を作る企てと捉え、州を単位とする政治の比較を通じてその過程を明らかにすることを試みた。

本研究の直前に復活した中央議会における単一政党による過半数支配が研究期間中に強化されるなど、新たな傾向の解明にも取り組み、地域の多様性に基づく分権化と、グローバル化が要請する国家への集権化との競合關係に注目した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、単一の主権国家内部における異なる政治的単位の間での多様性が、混乱や国家の崩壊ではなく、民主主義的安定をもたらし可能性をも持っていることを、国家間ではなく国家内の政治的単位間の比較研究によって明らかにしようとし、それに成功している点に学術的意義がある。

また、こうした国家内部における多様性が民主主義的過程を通じて安定をもたらすという結論は、国際社会におけるさまざまな国家崩壊や平和構築過程における議論や問題把握に大きな示唆を与えることができる。

研究成果の概要（英文）： India's post-independence political development evolved around the federal framework based on its cultural, religious and other diversities on the one hand, and the centralised structure for the social and economic development, in which the former modified the latter to bring the de-centralized relations on the basis of constituent States as represented by several coalition governments at the Centre. This research understands this development as an attempt to create a society based on the regional diversities under the single sovereign state and made an effort to find out the processes to it by comparing the politics in different States.

The majority rule having re-emerged at the Parliament just before this project was further strengthened during the research period and we tackled such a new development as the competition between the decentralisation based on the regional diversities and the centralisation demanded by the globalisation tendencies on the state.

研究分野：国際関係論

キーワード：インド 州政治 民主主義 比較 安定 行政 国際共同研究

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 1991年以降のインドの「大国」としての台頭の意義は、世界が同時期に不安定化する中でインドの「安定」に見出しうる。かつて国家解体の危機を招くとすらみなされてきた「州」への遠心力が、州ごとに異なる地域政党の発達と、中央での過半数政党の消失による州政党参加の連立政権常態化とが結びついて生まれた求心力によって均衡した結果もたらされた「安定」は、一つの主権国家内における分権的民主主義の新しいあり方を示すものとして、政治学研究に大きな課題を与えた。

(2) 本科研に先行する平成24年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(海外学術調査))「グローバル化のなかのインド「州」政治：開発・環境・暴力をめぐる全28州の比較分析」は、そういう問題意識から「州政治の比較研究」に取り組み、「州」という単位の固有性、独自性を明らかにするとともに、その比較のためには様々な方法上のアプローチが必要であることも示すことができた。他方で、5年間の同科研中に行われた2014年の第16次インド連邦下院総選挙では、30年ぶりに下院議席の過半数を占める政党が生まれ、グローバリズムの動きに国内の一元化によって対応する体制が整い始めた。州の自律性と連立政権という均衡関係は、グローバル化に対応する国内統合という求心力の挑戦を受け、新たなダイナミズムを考慮に含めた研究が必要となった。

2. 研究の目的

(1) 本研究は、先行する上記科学研究を踏まえ、連邦制の枠組みの中でインドの各州はどのように個別の特色を育ててきたのか、そしてそれが潜在的な政治紛争要因をいかにして封じ込め、またインドという枠組みをどのように利用し、さらにはその枠組みからいかなる影響を受けてきたのか、を研究課題としてスタートした。

(2) その後、研究期間5年の第3年目である2019年に行われた第17次インド連邦下院総選挙で連立与党第一党がさらに議席を伸ばして単独過半数を維持し、グローバルな競争にインド国家としての競争力をつけるための政治的・経済的国内一元化に本格的に取り組み始めるようになると、個別性と自律性を持つ州の水平的均衡に加え、「インドという枠組み」が州政治にもたらす統合圧力とのせめぎあいという垂直的均衡の解明が主要な研究課題に加わることとなった。しばしば「ヒンドゥー多数派主義」ともいわれる、この、グローバル化を圧力としたヒンドゥー・ナショナリズムの大衆化ともいべき現象は、インドの各州が持つ本質的な多様性を果たして変えていくのか、本科研はそういう課題をも意識しつつ進めていった。

3. 研究の方法

(1) 本研究は、政治学、社会学、文化人類学、経済学、国際関係論などさまざまな専門性を持つ研究者の共同研究として、多様なアプローチから州政治の分析を行い、それらを比較研究するという方法を取る。対象間のみならず、アプローチ間の比較をも行うことで、インドの州の持つ多様性を明らかにしようとした。

(2) 研究分担者はそれぞれがインドの29州のひとつ(場合によっては2つ以上)を担当し、それぞれのアプローチによって実施する海外調査によって得られた暫定的な結果を研究会において報告し、全員の参加による討論を通じて共有し、方法の深化につなげた。

(3) さらに積極的に海外、特にインドの研究期間との間で国際ワークショップを行い、日本側の研究成果を発信し、研究交流を行うことで方法論と内容の深化を行った。

4. 研究成果

(1) 2019年のインド第17次総選挙後の統合化圧力の増大によって、州政治の比較研究は大きく様相を変化させた。それを受けて、2019年12月にインド、チャンディガルでパンジャブ大学および開発コミュニケーション研究所とともに行った国際ワークショップを契機に、州の固有性、自律性を調整する中央政府のさまざまな行政的手段に対する注目が促されることになった。

(2) しかしながら、その直後から急速に拡大し始めたCOVID-19の影響によって、本研究の海外調査やインド側との共同研究の余地は突然失われた。2020年3月以降、2022年夏に至るまで、ほぼ海外調査や海外での国際会議も、海外研究者の招聘も不可能となり、2020年度は最初の3年間の調査の整理と購入資料による研究及び一部の調査の翌年度及び翌々年度への繰越を、最終年度の2021年度は調査の残りとして総括国際会議のほぼ全体を翌年度に繰越して実施せざるを得なかった。

(3) その結果、本研究においては、各分担者による担当州の分析を中心とし、新たな観点による研究に現地調査を通じて取り組むことはほぼ断念し、当初の研究計画に基づいて、多様なアプローチによってさまざまな州の政治状況を分析し、州ごとの多様性を明らかにする、という研究結果を追求することとなった。

(4) 研究成果は繰越して2022年11月に実施した国際ワークショップと、そこでの研究成果報告、インドからの研究協力者によるコメントを含む討論、そしてそれらに基づいて作成された最終報告書(Final Report: 英文)に凝縮されているが、政治学、歴史学、社会学、文化人類学、経済学などの多様なアプローチは、さまざまな発見を、州政治研究を通じてもたらしている。ただ、元来各研究分担者がインド研究のケーススタディとして行ってきた研究を、インドにおける州政治の比較研究とするためには、州を通してインドを見つ、同時にインドの他の地域と当該州との異同を確認する必要がある。その際、その異同がどのレベルで存在するのか、どこまでの共通性がみられ、どこで相違があるのか、といった問題を、整理し、明確化していかなければならない。

(5) たとえば、オリッサやゴア、タミル・ナドといった州の研究では、政治学的・歴史的アプローチが採られたが、そこには植民地時代の社会・権力構造が地域固有の社会・政治状況と相互作用し、その結果が今日の州政治に及ぼす影響が論じられた。その場合、植民地時代の構造というレベルでは広範な共通性を提供するように見えるが、植民地行政のどの部分が地域固有の構造と相互作用したのか、というレベルで考えると、植民地構造においてもむしろ相違が前面に浮かび上がってくる。また南インドの場合のように、植民地期に植民地権力が高カースト民を重用したことによる現地住民内の権力構造の変化は、構造変化のレベルで見た場合の共通性ととも、それへの反発がいつ、どのような形で現れるのかというレベルで見た場合の大きな地域的あるいは宗教的文化的相違という問題を提起している。

(6) ウットル・プラデーシュやビハールなどのガンガ平原地帯主要州の研究では、下層カースト間の連携の問題や政府広告を通じたメディアに対する支配の問題など、全インド的な現象につながる問題が扱われた。他方で北東部の、インドにあっては周辺に位置する州の研究では、中央政府に依存ないし従属する、パトロン・クライアント的な関係が見出された。実際に、インドには北東部やヒマチャル・プラデーシュやウッタラカンドといった山岳州を中心に「特別カテゴリー州」という地位が定められており、中央からの財政的支援等を得ているが、本研究を通じて、州政治の比較研究においても、そうした法的地位を超えた、たとえば主要州や依存州などといった、州のカテゴリー化が必要であることが明らかになった。

(7) また、カルナータカにおける女性の政治参加をめぐる研究のように、インド全体の中で特定の州での「先進事例」が見出される場合がある。もともと「後進性 backwardness」という言葉を特に重要視するインドにあって、ここではたとえば、「先進州」、「後進州」といった分類は可能なのか、あるいは「先進性」、「後進性」は問題領域ごとに考えるべきではないか、といった問題が提起される。そして後者の場合は、本研究における当該研究が示すように、「先進事例」自体の中に課題認識の契機が含まれるという視点もありうる。そうであれば、ここでは州の分類よりも、問題領域ごとの取組みの比較と、さまざまな問題領域をまたいで考える、当該州の特徴という視点の必要性に至るように思われる。

(8) 経済学的アプローチをとる研究分担者は、土地所有関係の変遷やジェンダー問題など、特定の今日的課題領域を切り口に、インド全州の比較の枠組みの構築に進んでいる。ただ、これらが他の研究分担者による各州の個別研究の中で十分に参照されるまでには至っておらず、個別研究から提起される比較枠組みの構築とともに、今後の課題となっている。これらは現在進行形の新科研の中で取り込まれることになるであろう。

(9) ジャムー・カシミール(現在は州としての地位を喪失し、ジャムー・カシミール及びレーの二つの連邦直轄領)やアーンドラ・プラデーシュ及びそこから分離したテランガーナといった州の研究が示唆するのは、州という単位で比較することの妥当性や、国家の分離独立とは異なる州の分割を可能とするダイナミズムの考察である。インドでは1950年代後半から70年代にかけて州の再編が行われたが、その後、1950年代とは異なる、州の自立性の拡大や中央における連立といったダイナミズムによって、2000年に新たに4州が生まれている。その後の展開で生まれたテランガーナ州やジャムー・カシミールの分割も含め、キーワードとしての「周辺性」が、単に中央との関係だけでなく、州内における「周辺性」として論じられる点が新しい。潜在的紛争要因を含め、この解決法がどのような「安定」をもたらすのかが、課題として明確化してきている。

(10) 近年のインド全体の政治的傾向としては、ヒンドゥー・ナショナリズムの大衆化を通じた「ヒンドゥー多数派主義」というべき状態が、本研究に新たな視角を求める背景として進みつつ

あることは、「研究の目的」の項において述べた。それに対し、北部のパンジャブや西部のグジャラート及びマハラシュトラの研究は、前者が投票行動とその背景となる社会変化の統計的分析、後者が言説的分析と、それぞれ異なるアプローチを取ってはいるが、そうしたトレンドに抗う動きの地域的性格を析出した。庶民党AAPによる2022年パンジャブ州議会選挙勝利は、同州における1980年代から90年代初頭にかけてのシーク教徒による独立を求める武装闘争に疲弊した住民が、生活への近代化の浸透とともに、宗教的要素ではなく汚職なきガバナンスという判断基準に基づいた投票行動を始めた結果であると研究分担者は分析している。また、グジャラートとマハラシュトラを分析した分担者は、隣接し、かつては同じ「ボンベイ州」であった両州における「ヒンドゥトゥバ」概念の相違と競合は、「ヒンドゥー多数派主義」が必ずしもインド人民党（BJP）による支配政党体制に進むとは限らないこと、特にインドで最も裕福な自治体である大ムンバイを擁するマハラシュトラでは、繰り返されるイスラーム教徒に対する暴力とともに、非マラーティ語話者の大規模な流入など、多様性を配慮すべき事情が増大し、「多数派主義」に代わる道が模索されていることが示された。これらの州に見られる異質性を、「近代化の進度」や「先進性」に由来すると見るのか、地域の歴史的・政治的発展の固有性に由来すると見るのかで、比較の枠組みの構成の仕方は大きく変わってくるだろう。

(11) 州の一部がデリー首都圏に含まれるハリヤーナにおいても大ムンバイのように人口流入による都市化が進んでいるが、マハラシュトラとは対照的に、今世紀に入って伝統的で世襲的な地域政党の影響力が弱まり、中央政治の対立軸のコピー化が進んでいる。旧東パンジャブからヒンディー語地域が切り離されて生まれたハリヤーナでは、最大言語集団であるヒンディー語話者が多数派であることも影響しているのかもしれないが、最近の傾向であるだけに、さらなる調査研究が必要である。

(12) より短期的でグローバルな影響については、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の西ベンガル州選挙結果に対する影響が分析された。インドにおける第二波の最盛期となった2021年3-4月に行われた西ベンガル州議会選挙では、州首相が選挙区で落選するというサプライズはあったものの、彼女の政党が圧勝した。感染症流行は投票所に足を運ばない理由にはならず、また多数の感染者や死者の存在も政権党に不利には働かず、中央ではなく州の開発政策が肯定的に評価された。同州の有権者が、州政府の責に帰しうる問題と、必ずしもそうではない問題とを明確に区別している点もさることながら、隣接するオリッサについても言えることであるが、自らにかかわる開発や生活向上の問題について、中央政府よりも州政府のパフォーマンスを冷静に評価している点も特筆すべきで、州間の比較枠組みを考える際の重要な基準となりうると思われる。

(13) 多くの州政治研究において「開発」や「生活向上」を政治変化の共通する動因であるとする分析結果がみられる中で、砂漠の州ラージャスターンでは、文化人類学的アプローチを通じて、それらをグローバルで普遍的な価値とする開発者や支配層の「環世界 Umwelt」と、それとは異なる、そこに住み働く民衆が「開発」がもたらす社会的・経済的・文化的変容の中で自ら見出していく「環世界 Umwelt」とがあることを明らかにし、「開発」の単線的理解を批判した。当地においてグローバリズムを象徴するともいふべき風力発電装置の乱立は、それによる被害を受ける現地部族が、それによって発電された電気の受益者でないゆえに、「開発」が作り出す二つの「環世界」の相違が際立つ。この事例は、州政治の比較研究において、概念名称の一致を概念そのものやその意識の一致と解することには慎重でなければならないことを示している。

(14) 全インドレベルで「ヒンドゥー多数派主義」が優勢になり、またカースト（ジャーティ）集団が公職等の留保を通じて政治的地位を確保する中で、最大の宗教的少数派であるイスラーム教徒は集団としての自らの政治的地位をいかにして獲得することができるのか。宗教を理由としてパキスタンを分離独立させたインドにおいては、宗教を基準とした優遇措置が禁じられているゆえ、これはイスラーム教徒にとっても、彼らを票田としようとする政治勢力にとっても、重要な問題になりうる。イスラーム教徒の藩王が支配していた旧ハイデラバード藩王国をその領域に持つ分割前のアーンドラ・プラデーシュでは、テランガーナ運動の高揚とともに二大政党グループ間の競争が激化し、有力なムスリム政党の存在と相まって、イスラーム教徒への留保が進展する条件が整い、イスラーム教徒であっても経済的に後進的なグループは、宗教を基準としたものではなく経済適応申請を基準としたものとして留保の対象となりうるという合意が形成された。これは「ヒンドゥー多数派主義」の下で、その宗教性を克服する動きとも、逆にヒンドゥー・ナショナリストが唱える「イスラーム教徒もインドにおいてはヒンドゥー社会の構成員である」という主張が受け入れられつつある動きとも捉えられる。

(15) 以上で論じたインド各州の多様性、固有性は、右図(図1)が示すように、より伝統的な国民統合圧力はもちろん、地球規模の圧力(グローバリズム)や、それが生み出す民衆レベルでの開発・生活向上願望に対しても、単線的ではない、多様かつ多中心的な反応を生み出し、それらが結果としてインド全体にしなやかな強さと安定を生み出していると考えられる。特筆すべきは、こうした多様で多中心的な発展と安定は欧州連合EUのそれに匹敵するとも考えられるにもかかわらず、多数の国民国家が連合したEUとは異なり、インドでは

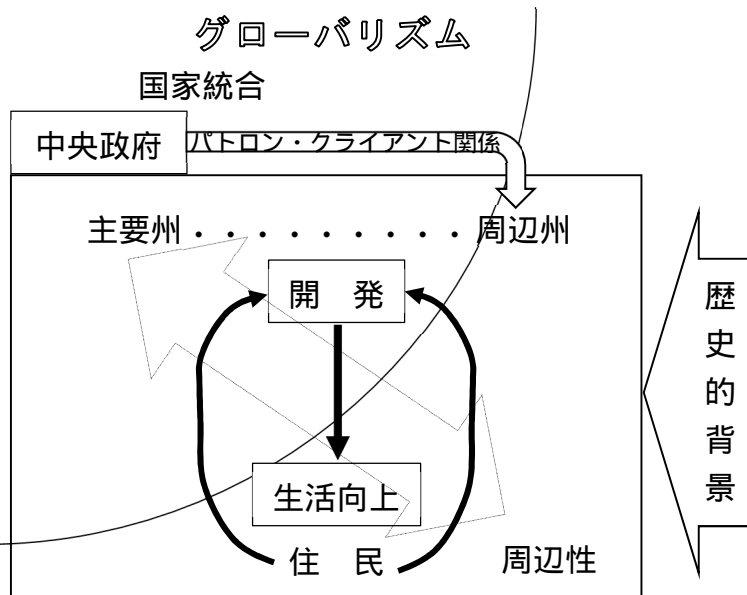


図1 州政治の比較研究概念図

起点において単一で統合的な国家建設を目指しながら、今日のような多様性と多中心性を公認する国家に成長したことである。国家内国家とも言うべき州の自立性の成長は、そうした自立へのダイナミズムの動因を明らかにする州政治の比較研究の有意性を明らかにしており、本研究はそのための重要な土台を提供することができた。

(16) 本研究の成果を踏まえて、今後は州政治の比較研究をより精緻化、モデル化し、インド以外のさまざまな国家における、紛争を回避することのできる分権的安定化の有効性を検討するツールとして発展させることが期待できる。

(17) 本研究の到達点を踏まえた、今後の発展的研究課題としては、以下のようなものが考えられる。

グローバリズムの圧力が主権国家による国家統合圧力にどのように変換されるのか、

「主要州」と「周辺州」はどのように分類できるのか、その変移可能性や中間形態はどうか、

グローバリズムから生じる圧力と、社会の「周辺」(周辺性)との間の対抗関係はどういうものか、それぞれの「環世界」は対抗するのか、融合するのか、

対抗関係の中での「暴力」の発生地点はどこか、それは非暴力的な「集団行動」に転化しうるのか、あるいは国家がコントロール可能な程度に抑えられるに過ぎないのか。

(18) 本研究は新たな科研「分権化と集権化の政治学：インド28州から見る「民主主義」の展開と再生への道」(基盤研究(A)22H00049)に引き継がれており、上記の発展的課題が取り組まれている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計120件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 20件）

1. 著者名 志賀美和子	4. 巻 45
2. 論文標題 ヒンドゥー・ナショナリズムとムスリム社会 市民権（改正）法とトリプル・タラーク禁止法	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 2-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 中溝 和弥	4. 巻 66（2）
2. 論文標題 Dismantling Democracy: The 2019 Indian General Election and the Formation of the 'BJP system'	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 76-92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11479/asianstudies.66.2_76	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 近藤則夫・佐藤創	4. 巻 58
2. 論文標題 2019年のインド 第17次連邦下院選挙と第2次モディ政権の成立	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア動向年報 2020	6. 最初と最後の頁 463 - 496
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24765/asiadoukou.2020.0_463	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 三輪博樹	4. 巻 42
2. 論文標題 インドにおける第17次連邦下院選挙の結果と今後の見通し	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 2-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三輪博樹	4. 巻 27
2. 論文標題 豪腕モディ政権下で広がるヒンドゥー教至上主義の現在	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 宗教問題	6. 最初と最後の頁 84-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川道大、高島淳、山畑倫志、小倉智史、澁谷俊樹、足立享祐	4. 巻 30
2. 論文標題 第6回シンポジウム ヒンドゥイズム再考 - 時代を超えた変動とその余白 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 南アジア研究	6. 最初と最後の頁 141-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11384/jjasas.2018.141	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤融	4. 巻 1(2)
2. 論文標題 インド外交のなかの「モディ外交」 伝統的外交からの脱皮か、継続か?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Security Studies 安全保障研究	6. 最初と最後の頁 65-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ITO, Toru	4. 巻 4
2. 論文標題 Modi's Principle and Reality of 'SAGAR' in the Indo-Pacific Region	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Global Security Seminar Series	6. 最初と最後の頁 64-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫・小川道大（共著）	4. 巻 -
2. 論文標題 インド：問題を内包しつつも安定した政権運営を続けるモディ政権	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア動向年報2018	6. 最初と最後の頁 481-514
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小西公大	4. 巻 20
2. 論文標題 異種混交が生み出すフィールド教育の可能性：離島・廃校舎・ローカリティ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『社会と調査』（一般社団法人社会調査協会）	6. 最初と最後の頁 84-89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫・小川道大	4. 巻 -
2. 論文標題 2016年のインド：経済改革は進展するもヒンドゥー民族主義の拡散に苦慮するモディ政権	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア動向年報2017	6. 最初と最後の頁 489-522
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫	4. 巻 269
2. 論文標題 現実と向かい合うインド政治研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジ研ワールド・トレンド	6. 最初と最後の頁 30-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫	4. 巻 669
2. 論文標題 世界最大の民主主義国の現在 インド人民党連合政権の政治	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 5-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁美	4. 巻 34
2. 論文標題 2017年ウツタル・プラデーシュ (UP) 州議会選挙が与えるインパクト	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 3-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺明生	4. 巻 -
2. 論文標題 現代インドのグローバル化と州政治：全体の構造変動と州間比較	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 グローバル化のなかのインド州政治 - 開発・環境・暴力をめぐる全28州の比較分析	6. 最初と最後の頁 121-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuya Nakamizo	4. 巻 -
2. 論文標題 Democracy and Vigilantism in India: New Phase of Hindutva	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings for '70 Years of Independence: India in Asia' Special International Conference on 70 Years of Independence of India and 43rd Regular Conference of Korean Society for Indian Studies (Inc.)	6. 最初と最後の頁 179-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wada, Kazuya	4. 巻 96
2. 論文標題 Demographic Change and Women's Status in India	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 63 - 78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤融	4. 巻 641
2. 論文標題 コロナ禍の印中国境対立 インドの視点	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 10-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 UEDA Tomoaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Pandemic and West Bengal Assembly Election 2021	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 YOSHIDA Osamu	4. 巻 -
2. 論文標題 From a Separate Linguistic State to the Industrial Development	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ITO Toru	4. 巻 -
2. 論文標題 Vanished State of Jammu and Kashmir—Viewed from the Periphery—	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 37-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ISHIZAKA Shinya	4. 巻 -
2. 論文標題 Uttarkhand and Himachal Pradesh	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 45-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KONDO Norio	4. 巻 -
2. 論文標題 Evolution of Punjab Electoral Politics and the Aam Aadmi Party in Post-Conflict Politics —the Analysis of the Rise of the Aam Aadmi Party in 2017 and 2022 Legislative Elections—	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 51-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SATO Hitomi	4. 巻 -
2. 論文標題 Politics in Haryana in Comparison with National Capital Territory (NCT) of Delhi - Would "Development" & "Good Governance" Issues Change the Politics of the State-Level?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 79-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 FUNAHASHI Kenta	4. 巻 -
2. 論文標題 "Who Can Represent Minorities? The Development and Impasse of the Bahujan Samaj Party in Uttar Pradesh "	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 87-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KONISHI Kodai	4. 巻 -
2. 論文標題 "Unwelts" toward Energy: The Conflict against Wind Farm Development at Thar Desert, India	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 97-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 YUI Miharuru	4. 巻 -
2. 論文標題 Hindutva Politics and Its Opponents in Gujarat and Maharashtra	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 103-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OGAWA Michihiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Madhya Pradesh and Goa	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 121-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KIMURA Makiko	4. 巻 -
2. 論文標題 Ethnic Autonomy and Decentralization in Northeastern India	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 135-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MORI Yuko	4. 巻 -
2. 論文標題 Women's Empowerment and Voter Turnout Evidence from Long-Term Panel Data of Assembly Elections	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 143-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SHIGA Miwako	4. 巻 -
2. 論文標題 Reservation System in Tamil Nadu and Its Historical Background	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 163-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KITAGAWA Masayuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Civic Competence of Women in Rural Karnataka Quota, NGO's and Empowerment	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 189-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MIWA Hiroki	4. 巻 -
2. 論文標題 "Alternative Politics" in India and Three Political Events since the 2010's	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 207-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 WADA Kazuya	4. 巻 -
2. 論文標題 Agriculture, Computerization of Land Records, and Migration Evidence from Rural India	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 221-231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ITAKURA Kazuhiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Reservation Policies in State Politics A Focus on the Inclusion of Muslim OBC 's Reservations	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Final Report, Effects and Future Potentials of Decentralized Development Styles of Stable Democracy Analyzed through Comparative Studies of 29 States in India	6. 最初と最後の頁 233-240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上田知亮	4. 巻 第65巻第1号
2. 論文標題 インドでは誰が誰をどのようにオンブズマンに選任するのか？ 汚職撲滅運動、ロークパール法、留保制度	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東洋法学	6. 最初と最後の頁 145-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34428/00012845	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上田知亮	4. 巻 第65巻第3号
2. 論文標題 パンデミックとインド州議会選挙：新型コロナウイルス感染症は投票行動を左右したか？	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東洋法学	6. 最初と最後の頁 145-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34428/00013229	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三輪 博樹	4. 巻 51
2. 論文標題 新型コロナウイルスとインド外交	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 26-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 インド民主主義の危機	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 南アジア 民主政治と国際政治のダイナミズム	6. 最初と最後の頁 3-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 2019-31
2. 論文標題 書評論文：油井美春著『現代インドにおける暴動予防の政策研究 コミュニティ・ポリシング活動の挑戦』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『南アジア研究』日本南アジア学会	6. 最初と最後の頁 135-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuya Nakamizo	4. 巻 67
2. 論文標題 The Politics of Obedience: The BJP System and the 2020 Bihar State Assembly Election	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 40-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫・佐藤創	4. 巻 2021
2. 論文標題 2020年のインド 新型コロナウイルス禍に苦慮するモディ政権	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 2021アジア動向年報	6. 最初と最後の頁 459-490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/asiadoukou.2021.0_459	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 志賀美和子	4. 巻 -
2. 論文標題 「カースト」の変容とその影響: 立ち上がる「不可触民」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 南アジアの思想と価値の基層的变化	6. 最初と最後の頁 69-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石坂晋哉	4. 巻 70(2)
2. 論文標題 インドの災害対策	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 61-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三輪 博樹	4. 巻 66(3)
2. 論文標題 第2次モディ政権のもとでのインド国内政治	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界経済評論	6. 最初と最後の頁 17-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫・湊一樹	4. 巻 2022
2. 論文標題 2021年のインド 独立75周年を前に停滞するモディ政権	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 2022アジア動向年報	6. 最初と最後の頁 465-496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/asiadoukou.2022.0_465	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫	4. 巻 847
2. 論文標題 書評「志賀美和子著『近代インドのエリートと民衆：民族主義・共産主義・非バラモン主義の競合』」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 86-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 志賀美和子	4. 巻 1028
2. 論文標題 インド統治法改正と「マイノリティ」「不可触民」の活動にみる集団間関係とアイデンティティ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 98-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田修	4. 巻 54
2. 論文標題 インドとロシア：その「同盟観」を考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 11-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 697
2. 論文標題 コロナ禍と惨事便乗型権威主義 インドの試練	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 15-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計175件（うち招待講演 37件 / うち国際学会 79件）

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Glocalization of Natural Farming
3. 学会等名 48th Annual Conference on South Asia, Madison (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Quest for a Non-exclusive Politics: Ram Manohar Lohia and the Anti-caste Movement in India
3. 学会等名 International Convention of Asia Scholars 11 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenta Funahashi
2. 発表標題 Expanding Identities and Social Inclusion: A Case Study of Dalit Converts to Buddhism in North India, [Panel] "Social Inclusion/exclusion in South Asia 2: Minorities"
3. 学会等名 11th International Convention of Asia Scholars (ICAS 11), Leiden University, The Netherlands (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenta Funahashi
2. 発表標題 Comments on the PANEL, Trans-cultural Mobility and the Changing Notion of "universality": A Multidisciplinary Approach to Finding "Universality"
3. 学会等名 AAS (Association for Asian Studies)-in-Asia 2020, Kobe, Japan and Online (Zoom) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 志賀美和子
2. 発表標題 タミル・ナードゥ州の政治動向と連邦下院選挙への影響 2014年～2019年
3. 学会等名 2019年度新インド州政治科研第1回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 The Crisis of Indian Democracy: Strong State and Vigilante Justice
3. 学会等名 The 11th International Convention of Asia Scholars (ICAS) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 Populist Appeals and Party Support in Bihar
3. 学会等名 American Political Science Association Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中溝 和弥
2. 発表標題 民とは誰か？－インドにおける宗教マイノリティの抑圧
3. 学会等名 日本政治学会分科会A - 2 「『民』の再定義に向けて - 21 世紀の民主主義における『民』の境界・条件・限界」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 2019 General Election and the Formation of the BJP system in India
3. 学会等名 2019年度アジア政経学会秋季大会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuko Mori
2. 発表標題 Comparative Analysis of Life Satisfaction, Equivalent Income Indices, and Alkire-Foster Multi-dimensional Poverty Index: Empirical Results from India
3. 学会等名 The 1st Japanese Association for Development Economics (JADE) Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田辺明生
2. 発表標題 デモクラシーと発展の緊張関係 インド・オディシャー州ドングリア・コンドの出口のない苦境
3. 学会等名 2019年度新インド州政治科研第1回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 Democracy and Development in Tension: Predicament of Politico-economic Stalemate among the Dongria Khonds in Odisha, India
3. 学会等名 International Conference on "Globalizing Life World and Transformation of Political Sphere" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板倉和裕
2. 発表標題 インドにおけるムスリムの包摂と排除：アーンドラ・プラデーシュ州におけるムスリム留保枠導入の試みに注目して
3. 学会等名 2019年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Itakura
2. 発表標題 Muslim Political Participation in India
3. 学会等名 11th International Convention of Asian Scholars (ICAS 11) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Itakura
2. 発表標題 Politics of Muslim Reservation in India: A Case Study of Andhra Pradesh
3. 学会等名 International Conference on "Globalizing Life World and Transformation of Political Sphere" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Reconsidering the Great Famine of Western India (1876-1878) from A Metrological Perspective
3. 学会等名 The Third World Congress of Environmental History (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川道大
2. 発表標題 地稅徵收制度にみる18-19世紀のインド西部の農村社会の変化
3. 学会等名 東方学会2019年度秋季学术大会シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Colonisation of Western India in the Early Nineteenth Century Reconsidered: Emphasizing the Land Revenue System Transition from Pre-Colonial to Colonial Periods
3. 学会等名 The Third ACSAS Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 A Study of Recent Trends in Politics of Madhya Pradesh: through the GIS Analysis of State and National Elections
3. 学会等名 International Conference on "Globalizing Life World and Transformation of Political Sphere" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川道大
2. 発表標題 マディヤ・プラデーシュ州における近年の州議会・連邦議会選挙の空間分析と州政治の動向
3. 学会等名 2019年度新インド州政治科研第1回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小西公大
2. 発表標題 偶発性を生み出すフィールドワーク教育：学びが生まれる余白と異種混交性
3. 学会等名 日本文化人類学会 第54回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kodai Konishi
2. 発表標題 Clean Energy or Sacred Energy?: The Conflict against Accessibility to Holy Place in Wind farm at Thar Desert, India
3. 学会等名 International Conference on "Globalizing Life World and Transformation of Political Sphere" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小西公大
2. 発表標題 インドにおけるオルタナティブ教育の可能性：タール砂漠エリアにおけるシュタイナー思想とポリティクス
3. 学会等名 2019年度新インド州政治科研第2回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Osamu Yoshida
2. 発表標題 Concluding Remarks
3. 学会等名 International Conference on "Globalizing Life World and Transformation of Political Sphere" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 修
2. 発表標題 コルカタ北郊一般廃棄物処理改善事業とインド地方行政の課題
3. 学会等名 2019年度新インド州政治科研第2回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石坂晋哉
2. 発表標題 ウッタラーカンド政治再考
3. 学会等名 インド州政治研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Glocal Development of Natural Farming Movement
3. 学会等名 XIX ISA World Congress of Sociology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Social movements and social transformations in Uttarakhand
3. 学会等名 International Seminar on Assessing Citizen Participation and Voices in the Era of Democratic Decentralisation in Indian States: Interdisciplinary Approaches (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Glocalization of Natural Farming
3. 学会等名 International Seminar "Rethinking Development: Networks, Brokers and Devotion" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和田一哉
2. 発表標題 経済発展、教育、女性のエンパワーメント
3. 学会等名 教育からとらえるインドの現在 - 多様性のなかの平等を考える - (日本南アジア学会30周年記念連続シンポジウム第4回、@福岡アジア美術館)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 和田一哉
2. 発表標題 土地所有、教育投資、貧困削減：インドの家計データを用いた実証分析
3. 学会等名 2018年度アジア政経学会秋季大会（@新潟大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wada, Kazuya
2. 発表標題 Changes in Landholdings and Household Welfare in Rural India
3. 学会等名 International Seminar “Assessing citizen participation and voices in the era of democratic decentralisation in Indian states: Interdisciplinary approaches” : Interdisciplinary approaches (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makiko Kimura
2. 発表標題 War, Love and Chastity: Conflicting Narratives about a Local Female Interpreter in the Tangkhul Naga area of Manipur, India
3. 学会等名 6th Conference of the Asian Borderlands Research Network (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 紛争地のフィールドワーク
3. 学会等名 津田塾大学国際関係学科50周年記念事業 多文化・国際協力学科設立記念 シンポジウム「女性フィールドワーカーは語る」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 インド北東部におけるムスリムの排斥
3. 学会等名 東南アジア学会 北海道・東北地区 特別例会「境界からみるアジア - 宗教の中心と周縁」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makiko Kimura
2. 発表標題 Has Sarengla Married a Japanese Soldier? War, Gender and Chastity in Naga Hills, Manipur during World War II
3. 学会等名 'India's North Eastern Region and Connectivity: Japan's Engagement in the Past, Present and Future' (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三輪博樹
2. 発表標題 インドの選挙制度と政党政治
3. 学会等名 平成30年度第3回外国選挙制度に関する研究会(総務省選挙部)(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤則夫
2. 発表標題 南アジア5カ国における民主主義の認識構造: トラスト、政治的有力感、社会不安、政府業績評価
3. 学会等名 日本比較政治学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Reconsidering the Great Famine of Western India (1876-1878) from Perspectives on Mortality and Climate
3. 学会等名 Associate Asian Studies in Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 The Activities of European Merchants under the India Monetary System in Western India with Special Reference to Bombay and Pune in the Late Eighteenth Century
3. 学会等名 XVIII World Economic History Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Reconsidering the village community in the 18-19th century Western India
3. 学会等名 日本南アジア学会全国大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川道大
2. 発表標題 「ヒンドゥイズム再考：時代を超えた変動とその余白」趣旨説明
3. 学会等名 日本南アジア学会全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Reconsidering the Great Famine (1876-1878) in Western India from a meteorological perspective
3. 学会等名 Indo-Japan Joint Workshop: Socioeconomic/Hydroclimatological Perspectives of Future Asian Monsoon
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Governance of Natural Resources and Land Use in Western India from the 18th century to the 19th century
3. 学会等名 JSPS-ICSSR Bilateral Joint Research Project, International Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 Democracy and Development in Tension: Predicament of Politico-economic Stalemate among the Dongria Khonds in Odisha, India
3. 学会等名 International Workshop: Rethinking Development: Network, Brokers and Devotion (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 Recent Socio-economic Changes in Niyangiri Region in Odisha, India: With Special Attention to Scheduled Tribes and Scheduled Castes
3. 学会等名 International Workshop: New Stage of South Asian Agriculture and Rural Economies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺明生
2. 発表標題 部族民と不可触民 インドにおける差別の諸形態
3. 学会等名 人文研アカデミー2018「人種神話を解体する 可視性と不可視性のはざまで (In) Visibility」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺明生
2. 発表標題 インド史への視座 多様性の統合
3. 学会等名 インド史(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小西公大、門田岳久
2. 発表標題 予測=期待をめぐるエスノグラフィの可能性と有限性：宮本常一写真プロジェクトの自己分析から
3. 学会等名 日本文化人類学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小西公大
2. 発表標題 意志を紡ぐフィールド：インド・タール沙漠の周縁からみる開発の未来
3. 学会等名 2018年度 海外学術調査フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 舟橋健太
2. 発表標題 コメント「日本南アジア学会記念30周年連続シンポジウム『ヒンドウイズム再考：前近代インド社会における宗教的混淆について』」
3. 学会等名 日本南アジア学会第31回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森悠子
2. 発表標題 Voter Turnout of Women: Evidence from Long-Term Panel Data of Assembly Elections
3. 学会等名 International Seminar on Assessing Citizen Participation and Voices in the Era of Democratic Decentralization in Indian States: Interdisciplinary Approaches (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田修
2. 発表標題 Welcome Remarks
3. 学会等名 International Seminar on Assessing Citizen Participation and Voices in the Era of Democratic Decentralization in Indian States: Interdisciplinary Approaches (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Beliefs and Movement: On the Misapprehensions of "Hindu" Elements in the Anti-Tehri Dam Movement
3. 学会等名 International Convention of Asia Scholars 10 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石坂晋哉
2. 発表標題 自然農法運動のグローバルな展開
3. 学会等名 中四国法政学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Natural Farming Movement
3. 学会等名 Sevagram International Conference on Non-violent Economy and Peaceful World (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上田知亮
2. 発表標題 インドにおける汚職取締法制と汚職撲滅運動
3. 学会等名 「汚職撲滅のパラドクス」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上田知亮
2. 発表標題 西ベンガル州におけるゴルカランド運動と言語問題
3. 学会等名 インド州政治研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 The Development of the Bombay City after the Opening of the Railway in the Mid Nineteenth Century -the GIS analysis
3. 学会等名 International Convention of Asian Scholars (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 The Formation of Economic Zones in the Bombay City in the Late Nineteenth Century
3. 学会等名 The 6th Angis Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川道大
2. 発表標題 18-19世紀インド西部における植民地化前後の土地制度の変遷 ライヤットワーリー制の導入に注目して
3. 学会等名 北陸史学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kodai KONISHI
2. 発表標題 Toward the Resurrection of Sacred Land: A Case from Development of Wind Power Generation in Thar Desert
3. 学会等名 the 10th International Convention of Asia Scholars (ICAS 10)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川将之
2. 発表標題 Waves of Democratic Decentralisation in Karnataka, India
3. 学会等名 International Seminar on Peace and Stability through Decentralization, Hiroshima Active Peacebuilding Research Initiative (HiPeC), Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makiko Kimura
2. 発表標題 Resisting Militarization and Extrajudicial Executions in Northeast India
3. 学会等名 The Tenth International Convention of Asia Scholars (ICAS10) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makiko Kimura
2. 発表標題 War, Gender and Memory: Circulation of Conflicting Narratives about a Naga Female Interpreter and a Japanese Soldier during WWII
3. 学会等名 The 34th Zomia Seminar (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 エスニック運動と強制避難 インド・アッサム州におけるボドランド要求運動を事例に
3. 学会等名 社会運動研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 インド北東部のエスニック紛争とグローバル化の影響 ポドランド運動を事例に
3. 学会等名 第4回北東地域連結性研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 アッサム州・ポドランド地域における紛争の再発 選挙と集合的暴力の関係
3. 学会等名 2017年度第3回インド州政治科研究研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤則夫
2. 発表標題 インドにおける村の開発政治と諸階層：ウッタル・プラデーシュ州東部の農村部における弱者層の開発政治への参加の拡大
3. 学会等名 日本南アジア学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 志賀美和子
2. 発表標題 「周縁」から「中心」へ 「不可触民」運動100年の葛藤
3. 学会等名 新しい民衆史研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Anti-Racism and Spiritual Universalism: Connection and Diversion of Transnational Nationalisms of Japan and India in the Late Nineteenth and Early Twentieth Centuries
3. 学会等名 International Seminar on Race and Racism (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Forms of Racialization in Odisha, India: Projecting Anxieties of Globalization onto the Marginalized
3. 学会等名 116th Annual Meeting of American Anthropological Association (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Genealogies of 'Paika Rebellion': Heterogeneities and Linkages
3. 学会等名 Invited Key Speaker at National History Symposium 'Paika Rebellion: A Forgotten Era of Indian Freedom Struggle' (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 Democracy and Vigilantism in India: New Phase of Hindutva
3. 学会等名 '70 Years of Independence: India in Asia' Special International Conference on 70 Years of Independence of India and 43rd Regular Conference of Korean Society for Indian Studies (Inc.)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 自由論題6 「インドとミャンマー」司会兼討論
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 部会15 自由論題部会「ユーラシア・中央アジアの外交と秩序」司会兼討論
3. 学会等名 2017年度国際政治学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 YOSHIDA Osamu
2. 発表標題 Federalism and Peace: A Comparative Analysis of Indian and South-East Asian Experiences
3. 学会等名 Lecture at Institute for Development and Communication, Chandigarh, India (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 和田一哉
2. 発表標題 土地所有の動向と家計厚生に対する影響
3. 学会等名 州政治科学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 シャレングラは日本兵と結婚したのか？ インパール作戦をめぐる語りと記憶
3. 学会等名 「インパール作戦 現地被害・記憶・和解」連続オンラインセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kimura, Makiko
2. 発表標題 War, Gender and Chastity: Contested Narratives on Sarengla in the Naga hills of Manipur, Northeast India
3. 学会等名 第33回日本南アジア学会全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田 修
2. 発表標題 転機に立つインド連邦制と州政治
3. 学会等名 日本南アジア学会第35回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 YOSHIDA Osamu
2. 発表標題 How Local Politics Matters? Academic and Practical Potentials of Comparative Studies between and within India, Japan and Post-conflict Countries
3. 学会等名 Sikkim University G20 Lecture Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 The Politics of Recovery in Post-Conflict Worlds in India
3. 学会等名 49th Annual Conference on South Asia (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 和田一哉
2. 発表標題 農業、土地市場、人口移動：インド農村家計パネルデータの実証分析
3. 学会等名 アジア政経学会春季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 和田一哉
2. 発表標題 開発経済学でみるMDGsとSDGs：ミクロ経済研究にみるジェンダー問題
3. 学会等名 共生社会システム学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 志賀美和子
2. 発表標題 南インドにおける「不可触民」と民族運動
3. 学会等名 民衆史研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川道大、田口宏二朗
2. 発表標題 空間・分配・秩序 : 土地制度をめぐる中印比較
3. 学会等名 第90回社会経済史学会全国大会 神戸大学(オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 A Study of Socio-Economic Change and Continuity under the Colonization in Western India with a Focus on the Land Revenue System from the Late Eighteenth Century to the Early Nineteenth Century
3. 学会等名 The second International Conference on Indian Business & Economic History, IIT (Ahmenabad), India (online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Circulation of Silver Coins in the Period of the Transition from the Maratha rule to the British rule with a Special Focus on Western Maharashtra in the Period of the 1780s - the 1840s
3. 学会等名 The Nineteenth International Conference on Maharashtra Society and Culture, University of Oxford, UK (online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seemanta Sharma Bhagabati and Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Meteorological Characteristics of the Great Famine in Deccan Plateau in the Nineteenth-Century India
3. 学会等名 The Eighth International Conference on Asian Network for GIS-based Historical Studies, The University of Tokyo, Japan (online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Sharing of Local Knowledge in the Process of Colonization in Western India Comparison of Historical Documents in Marathi and English in the Early Nineteenth Century
3. 学会等名 the Association for Asian Studies, Annual Conference, University of Hawaii, USA (hybrid) オンライン参加(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木村真希子
2. 発表標題 2021年アッサム州議会選挙
3. 学会等名 「分権的発展の効果と潜在力：インド29州の比較分析を通じた民主主義的安定のかたち」科研研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Natural Farming and Religions in India
3. 学会等名 The Sixth Biennial Conference of East Asian Environmental History(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Glocalization of Natural Farming and Regional Development
3. 学会等名 13th World Congress of the RSAI(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Glocalization of Natural Farming and Nationalism
3. 学会等名 26th IPSA World Congress of Political Science (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuko Mori
2. 発表標題 Women Leadership Governance and Allocation of Public Goods in India
3. 学会等名 Japanese Economic Association 2021 Autumn Meeting
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森悠子
2. 発表標題 Who can become politicians in a gender quota system?
3. 学会等名 東京労働経済学ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa and Seemanta Sharma Bhagabati
2. 発表標題 "Reconsidering the Great Famine of Western India (1876-1878) from Meteorological and Hydrological Perspectives"
3. 学会等名 Association for Asian Studies 2022 (vertical conference) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小西公大
2. 発表標題 音楽とホリスティックな世界の接続 - インド北西部タール沙漠における「民俗音楽」の継承をめぐって
3. 学会等名 日本音楽教育学会 第53回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 和田一哉
2. 発表標題 農業、土地、人口移動：インド農村の事例から
3. 学会等名 日本南アジア学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤 融
2. 発表標題 消滅したジャンムー・カシミール州 「周縁」の視点
3. 学会等名 日本南アジア学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤則夫
2. 発表標題 北東部インドの連邦制と地方専制政治 木村真希子氏の著作によせて
3. 学会等名 日本南アジア学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 A Socio-Economic study of Deshmukhi Watan in the period of the transition from the pre-colonial to the colonial rule -with special focus on Indapur Pargana in Pune District (1760s-1840s) 言語：マラーティー語
3. 学会等名 Two Days' International Seminar on Western Maharashtra in Transition (17th to 20th Century) , Chhtrapati Shivaji University, Satara, India (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa and Seemanta Sharma Bhagabati
2. 発表標題 Revisiting the Great Famine (1876-1878) in the Krishna River Basin in India from a meteorological perspective
3. 学会等名 The Nineteenth World Economic History Congress (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa and Kojiro Taguchi
2. 発表標題 A Sino-Indian comparison: land, taxation, and social systems during the 15th-20th centuries
3. 学会等名 The Nineteenth World Economic History Congress (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michihiro Ogawa
2. 発表標題 Administrative use of marginal land in agrarian villages of Maharashtra under the Maratha and the British rule
3. 学会等名 the twentieth International Conference on Maharashtra (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuko Mori
2. 発表標題 Do women council members allocate more public goods? Evidence from rural India?
3. 学会等名 4th JADE Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森悠子
2. 発表標題 Who can become politicians in a gender quota system?
3. 学会等名 日本選挙学会2022年度研究会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuko Mori
2. 発表標題 Who can become a politician in a gender quota system?
3. 学会等名 17th Annual Conference on Economic Growth and Development (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 SATO Hitomi
2. 発表標題 Politics in Haryana in Comparison with National Capital Territory (NCT) of Delhi - Would "Development" & "Good Governance" Issue change the Politics of the State-Level?
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MIWA Hiroki
2. 発表標題 "Alternative Politics" in India and Three Political Events since the 2010s
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KITAGAWA Masayuki
2. 発表標題 Civic Competence of Women in Rural Karnataka: Quota, NGOs, and Empowerment
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 WADA Kazuya
2. 発表標題 Agriculture, Computerization of Land Records, and Migration—Evidence from Rural India—
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KONDO Norio
2. 発表標題 Evolution of Punjab Electoral Politics and the Aam Aadmi Party in Post-Conflict Politics The analysis of the Rise of the Aam Aadmi Party in 2017 and 2022 Legislative Elections
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 SHIGA Miwako
2. 発表標題 Reservation System in Tamil Nadu and Its Historical Background
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 OGAWA Michihiro
2. 発表標題 Goa and Madhya Pradesh -Exploring the State Politics from a Historical Perspective
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 ISHIZAKA Shinya
2. 発表標題 Uttarakhand and Himachal Pradesh
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 FUNAHASHI Kenta
2. 発表標題 Who can represent minorities?: The Development and Impasse of the Bahujan Samaj Party in Uttar Pradesh
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 UEDA Tomoaki
2. 発表標題 Pandemic and West Bengal Assembly Election 2021
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KIMURA Makiko
2. 発表標題 Ethnic Autonomy and Decentralization in Northeast India
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MORI Yuko
2. 発表標題 "Women ' s Empowerment and Voter Turnout Evidence from Long-Term Panel Data of Assembly Elections "
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KONISHI Kodai
2. 発表標題 " Unwelts " toward Energy The Conflict against Wind Farm Development at Thar Desert, India
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 ITAKURA Kazuhiro
2. 発表標題 "Reservation Policies in State Politics: A Focus on the Inclusion of Muslim OBCs into Reservations"
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 ITO Toru
2. 発表標題 Vanished State of Jammu and Kashmir Viewed from the Periphery
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 YUI Miharū
2. 発表標題 Hindutva Politics and Its Opponents in Gujarat and Maharashtra
3. 学会等名 International Workshop on State Politics in India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 Water Management and Democracy The Case of Bihar, India
3. 学会等名 JSPS Research Project 'The Nexus of International Politics in Climate Change and Water Resource' Agenda for the First Research Meeting
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 板倉 和裕
2. 発表標題 ムスリム留保枠導入をめぐるインド州政治の展開
3. 学会等名 日本南アジア学会第33回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shinya Ishizaka
2. 発表標題 Methodology for Collecting Narratives of the Battle of Imphal
3. 学会等名 日本南アジア学会第33回全国大会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計45件

1. 著者名 石坂晋哉、宇根義己、舟橋健太（共編著） 上田知亮、和田一哉、木村真希子、志賀美和子、板倉和裕	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 304
3. 書名 ようこそ南アジア世界へ	

1. 著者名 Tanabe Akio and Koichi Fujita	4. 発行年 2020年
2. 出版社 The Center for Southeast Asian Studies	5. 総ページ数 162
3. 書名 New Stage of South Asian Agriculture and Rural Economy: Integrated Study on the Dynamism of Mobility in Land and Labor	

1. 著者名 Koichi Fujita and Tsukasa Mizushima (eds.), Akio Tanabe	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 270
3. 書名 Sustainable Development in India: Groundwater Irrigation, Energy Use, and Food Production	

1. 著者名 石森大知・丹羽典生（編） 舟橋健太	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 448
3. 書名 宗教と開発の人類学 グローバル化するポスト世俗主義と開発言説 舟橋：「よりよい生を求めてインド、「不可触民」の解放実践と仏教改宗」	

1. 著者名 中溝 和弥	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Kyoto University Press and Trans Pacific Press	5. 総ページ数 427
3. 書名 Violence and Democracy: The Collapse of One-Party Dominant Rule in India	

1. 著者名 古田和子（編） 小川道大（分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 456
3. 書名 都市から学ぶアジア経済史	

1. 著者名 Bina Senegar and Laurie H, McMillin (eds.) Michihiro Ogawa	4. 発行年 2019年
2. 出版社 'Routledge	5. 総ページ数 246
3. 書名 "Spaces and Places in Western India Formations and Delineations", Michihiro Ogawa 'The Spatial Analysis of the Transition of the Land Revenue System in Western India (1761-1836), with special reference to Indapur Pargana '	

1. 著者名 李 修京 (編著) 小西公大 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 352
3. 書名 多文化共生社会に生きる グローバル時代の多様性・人権・教育	

1. 著者名 伊藤融	4. 発行年 2020年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 260
3. 書名 新興大国インドの行動原理 独自リアリズム外交のゆくえ	

1. 著者名 現代地政学事典編集委員会 (編) 伊藤 融、吉田 修 (分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 882
3. 書名 現代地政学事典	

1. 著者名 Tatsuya Yamamoto and Tomoaki Ueda (eds.) 小西・舟橋・板倉・石坂・木村	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 222
3. 書名 Law and Democracy in Contemporary India: Constitution, Contact Zone, and Performing Rights	

1. 著者名 志賀美和子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有志舎	5. 総ページ数 365
3. 書名 近代インドのエリートと民衆 民族主義・共産主義・非バラモン主義の競合	

1. 著者名 小川道大	4. 発行年 2019年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 448
3. 書名 帝国後のインド 近世的展開のなかの植民地化	

1. 著者名 三原芳秋、田辺明生、常田夕美子、新部亨子（共訳）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 432
3. 書名 異議申し立てとしての宗教	

1. 著者名 インド文化事典編集委員会編、上田知亮・志賀美和子・中溝和弥・舟橋健太（分担執筆）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 806
3. 書名 インド文化事典	

1. 著者名 木村真希子ほか（編） 小西公大（分担執筆）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 271
3. 書名 先住民からみる現代世界 わたしたちの〈あたりまえ〉に挑む	

1. 著者名 高満也 編 田辺明生（分担執筆）、舟橋健太（同）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 286
3. 書名 変貌と伝統の現代インド アンベードカルと再定義されるダルマ	

1. 著者名 ジェームズ・C・スコット、清水展・日下渉・中溝和弥訳	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 216
3. 書名 実践 日々のアナキズム 世界に抗う土着の秩序の作り方	

1. 著者名 油井美春	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 301
3. 書名 現代インドにおける暴動予防の政策研究	

1. 著者名 Minoru Mio, Abhijit Dasgupta, Akio Tanabe, Ayako Iwatani, Kazuya Nakamizo, Anderson H. M. Jeremiah, Kenta Funahashi, Rita Banerjee, Makiko Kimura, Micheal Heneise, Arkotong Longkumer	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 186
3. 書名 Rethinking Social Exclusion in India : Castes, Communities and the State	

1. 著者名 Stomu Yamash ' ta, Tadashi Yagi, Stephan Hill(eds.) 田辺明生 (分担執筆)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 564
3. 書名 Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality	

1. 著者名 辛島昇、弘末雅士 (編) 田辺明生 (分担執筆)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Toyo Bunko	5. 総ページ数 343
3. 書名 State Formation and Social Integration in Pre-modern South and Southeast Asia : a comparative study of Asian society	

1. 著者名 長崎暢子（編） 田辺明生（分担執筆）、近藤則夫（同）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 632
3. 書名 世界歴史大系 南アジア史4 近代・現代	

1. 著者名 田中雅一・松嶋健編 田辺明生（分担執筆）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 646
3. 書名 トラウマ研究1 ト라우マを生きる	

1. 著者名 山室信一・岡田暁生・小関隆・藤原辰史編 田辺明生（分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 370
3. 書名 われわれはどんな「世界」を生活しているのか 来るべき人文学のために	

1. 著者名 山室信一（編） 田辺明生（分担執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 232
3. 書名 人文学宣言	

1. 著者名 田中雅一、石井美保、山本達也、木村真希子、舟橋健太ほか14名	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 456
3. 書名 インド・剥き出しの世界	

1. 著者名 吉澤誠一郎（監修）、石川博樹、太田淳、太田信宏、小笠原弘幸、宮宅潔、四日市康博（編著）、上田知亮、舟橋健太（分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 378
3. 書名 論点・東洋史学：アジア・アフリカへの問い1158	

1. 著者名 小西公大(共編著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 356
3. 書名 萌える人類学者	

1. 著者名 小西公大(共編著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 188
3. 書名 人類学者たちのフィールド教育：自己変容に向けた学びのデザイン	

1. 著者名 小西公大（共編著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 384
3. 書名 インドを旅する55章	

1. 著者名 田所昌幸 編 三輪博樹（分担執筆）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 312
3. 書名 素顔の現代インド	

1. 著者名 Murayama, Mayumi, Hazarika, Sanjoy, Gill, Preeti, Kimura, Makiko et al.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 326
3. 書名 Northeast India and Japan	

1. 著者名 佐藤史郎、石坂晋哉（共編著） 木村真希子、舟橋健太、和田一哉、小西公大（分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 500
3. 書名 現代アジアをつかむ 社会・経済・政治・文化 35のイシュー	

1. 著者名 Minoru Mio, Kazuya Nakamizo, Tatsuro Fujikura (eds.) Norio Kondo (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 216
3. 書名 The Dynamics of Conflict and Peace in Contemporary South Asia- The State, Democracy and Social Movements	

1. 著者名 日下部尚徳・本多倫彬・小林周・高橋亜友子 編 三輪博樹 (分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 毎日新聞出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 アジアからみるコロナと世界 : 我々は分断されたのか	

1. 著者名 近藤則夫 (共著)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 96
3. 書名 胃袋を満たす国家の戦略 戦後日本、インド、エジプトの事例よりー	

1. 著者名 粕谷祐子 (編著) 近藤則夫 (分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 510
3. 書名 アジアの脱植民地化と体制変動: 民主制と独裁の歴史的起源	

1. 著者名 共編著：堀本武功・村山真弓・三輪博樹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 376
3. 書名 これからのインド：変貌する現代世界とモディ政権	

1. 著者名 木村真希子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 194
3. 書名 終わりなき暴力とエスニック紛争 インド北東部と国内避難民	

1. 著者名 小磯千尋・小松久恵（編著）、小川道大（分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 200
3. 書名 インド文化読本	

1. 著者名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada(eds.) Michihiro Ogawa (分担執筆)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge India	5. 総ページ数 128
3. 書名 Connecting the Indian Ocean World Across Sea and Land	

〔産業財産権〕

〔その他〕

インド州政治科研
<https://hipps.hiroshima-u.ac.jp/state-politics-india/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	北川 将之 (KITAGAWA Masayuki) (00365694)	神戸女学院大学・文学部・教授 (34510)	
研究分担者	板倉 和裕 (ITAKURA Kazuhiro) (00809212)	奈良工業高等専門学校・一般教科・助教 (54601)	
研究分担者	森 悠子 (MORI Yuko) (10748198)	津田塾大学・学芸学部・准教授 (32642)	
研究分担者	上田 知亮 (UEDA Tomoaki) (20402943)	東洋大学・法学部・准教授 (32663)	
研究分担者	石坂 晋哉 (ISHIZAKA Shinya) (20525068)	愛媛大学・法文学部・准教授 (16301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田辺 明生 (TANABE Akio) (30262215)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (12601)	
研究分担者	小西 公大 (KONISHI Kodai) (30609996)	東京学芸大学・教育学部・准教授 (12604)	
研究分担者	小川 道大 (OGAWA Michihiro) (30712567)	東京大学・東洋文化研究所・准教授 (12601)	
研究分担者	三輪 博樹 (MIWA Hiroki) (40375390)	帝京大学・法学部・准教授 (32643)	
研究分担者	油井 美春 (YUI Miharuru) (50634440)	関西学院大学・国際学部・准教授 (34504)	
研究分担者	和田 一哉 (WADA Kazuya) (70589259)	金沢大学・経済学経営学系・准教授 (13301)	
研究分担者	志賀 美和子 (SHIGA Miwako) (80401157)	専修大学・文学部・教授 (32634)	
研究分担者	近藤 則夫 (KONDO Norio) (90450452)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター南アジア研究グループ・主任研究員 (82512)	

6. 研究組織(つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	木村 真希子 (KIMURA Makiko) (90468835)	津田塾大学・学芸学部・教授 (32642)	
研究分担者	舟橋 健太 (FUNAHASHI Kenta) (90510488)	龍谷大学・社会学部・講師 (34316)	
研究分担者	中溝 和弥 (NAKAMIZO Kazuya) (90596793)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授 (14301)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	佐藤 仁美 (Sato Hitomi)	外務省	
研究協力者	伊藤 融 (Ito Toru)	防衛大学校	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 International Workshop on State Politics in India	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 Globalizing Life World and Transformation of Political Sphere	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Peace and Stability through Decentralization	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
インド	Institute of Development & Communication	Institute for Social and Economic Change		